

2. 令和5年度 神流町立中里中学校の評価・検証について

令和5年度 神流町立中里中学校では、これまでの生徒や保護者からのアンケートを中心とした評価から、評価項目を限定した教職員による「自己評価」と学校運営協議会による「学校関係者評価」による「学校評価」を実施しました。これまでの「学校評価」と実施方法が変わったため、本年度は試験的な位置づけも否めませんが、今後も改善を重ね、より充実した「学校評価」としていきたいと思っています。

なお、評価・検証の項目は以下の通りです。

1. 学校教育目標の達成に向けた自己評価

【評価項目】

(1) あなたは普段の授業（総合的な学習の時間を除く）において、学校教育目標「ふるさとに誇りをもち、自らの志を果たそうとする子どもの育成」の達成に向けて適切な教育活動ができたか？

(2) あなたは特別活動や総合的な学習の時間、学校行事等において、学校目標の達成に向けた適切な教育活動ができたか？

2. 校内研修に関する自己評価

【評価項目】

○あなたは普段の授業において、本年度校内研修のテーマである「自己調整力のある生徒の育成」のために「個別最適な学び」や「協働的な学び」の場面を取り入れるなどの授業改善を行うことができたか？

学校教育目標の達成に関すること

上記項目における本校教員の「自己評価」では、(1)各教科においては、半数以上の教員が「適切な教育活動ができていない」と否定的に回答している。その理由として、「ふるさとに誇りをもつ」と各教科の関連に困難さをあげている教員が多かった。一方で、(2)「総合的な学習」や「学校行事」等においては、大部分の教員が肯定的に回答していることから、「総合的な学習」や「学校行事」等においては、「学校教育目標」の達成に向けた教育活動が行われていることがうかがえる。

生徒へのアンケートでも「総合的な学習」を中心に全員が肯定的な回答をしているが、各教科における取組に肯定的な回答をした生徒はほとんどいなかった。また、保護者へのアンケートでも同様の回答結果となった。

ここから、現在の「教育教育目標」は学校全体の目標としては適切であるが、各教科における「学校教育目標」とすると課題があるといわざるを得ない。現在の「学校教育目標」を「学校目標(目指す生徒像)」など「学校教育目標」の一段階高い「目標」に位置づけ、改めて各教科における具体的な教育目標としての「学校教育目標」を設定する必要があるだろう。

学校運営協議会からは「学校教育目標」の検討について前向きな意見が出された。

校内研修に関すること

上記項目について大部分の教員が、本年度「個別的な学び」や「協働的な学び」を意識した授業を行っていたと回答している。また、本年度十分に行えなかった単元や学習内容についても、来年度は「改善していきたい」「もっと工夫していきたい」という前向きな回答が目立った。

生徒へのアンケートでは、「自己調整力」の一部として「自分で考えて行動するような学習活動」について、大部分の生徒が肯定的な回答をしている一方で、「個別最適な学び」や「協働的な学び」については肯定的な回答と否定的な回答に分かれ、生徒によって受け止め方の違いがあることが分かった。それは、保護者からのアンケートからもうかがえる。

今後は、生徒一人一人に即した「個別最適な学び」や「協働的な学び」をさらに意識した授業づくりが求められるが、先生方の「より良い授業を行っていきたい」という強い思いに期待したい。

学校運営協議会からは、地域学校協働活動等において生徒が自分の意見をしっかりと述べている現状から、学校での取組の成果について意見が出された。